

注3

大学番号：私209

[平成31年度設置]

計画の区分：学部の設置

注1

届出

立命館大学 グローバル教養学部 グローバル教養学科

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 立命館
令和元年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 グローバル教養学部事務室

職名・氏名 フジタ ナオタカ
藤田 直孝

電話番号 072-665-2492

（夜間）

F A X 072-665-2229

e-mail glapost@st.ritsume.ac.jp
n-fujita@st.ritsume.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

() 書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成31年4月2日付事務連絡「履行状況報告書の提出について

(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

グローバル教養学部

＜グローバル教養学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	11
4. 既設大学等の状況	12
5. 教員組織の状況	17
6. 附帯事項等に対する履行状況等	26
7. その他全般的事項	27

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 立命館

(2) 大学名 立命館大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒567-8570

大阪府茨木市岩倉町2番150号

(〒604-8520 京都府京都市中京区西ノ京東柵尾町8番地)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(モリシマ トモミ) 森島 朋三 (平成29年7月)		
学長	(ヨシダ ミキオ) 吉田 美喜夫 (平成27年1月)	(ナカタニ ヨシオ) 仲谷 善雄 (平成31年1月)	任期満了のため変更、平成31年1月1日(元)
学部長	(カナヤマ ツトム) 金山 勉 (平成31年4月)		
副学部長	(フジタ カヨコ) 藤田 加代子 (平成31年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)

令和元年度に報告する内容 → (元)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合(令和元年度までの5年間)ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
グローバル教養学部 グローバル教養学科 学士(グローバル教養学)	文学関係 社会学・社会福祉学関係	4年	100人	-年次人	400人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	100 (-) [-]		100 (-) [-]		100 (-) [-]		100 (-) [-]		0.23倍	— 倍	
志願者数	49 (-) [15]	(-) []	(-) []	(-) []	(-) []	(-) []	(-) []	(-) []			
受験者数	48 (-) [15]	(-) []	(-) []	(-) []	(-) []	(-) []	(-) []	(-) []			
合格者数	40 (-) [15]	(-) []	(-) []	(-) []	(-) []	(-) []	(-) []	(-) []			
B 入学者数	23 (-) [15]	(-) []	(-) []	(-) []	(-) []	(-) []	(-) []	(-) []			
入学定員超過率 B/A	0.23										

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
 ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	23 [15] (-)	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
2年次	/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
3年次			/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()
4年次	/				[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()
計			23 [15] (-)	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和元年度	23 人	0 人	令和元年度	0 人	0 人	
令和2年度	人	人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
令和3年度	人	人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
令和4年度	人	人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
合 計		0 人		人	人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{23} = \boxed{0} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<グローバル教養学部 グローバル教養学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
Essentials of Global Liberal Arts	Introduction to Global Liberal Arts I	1前	4			6	7					
	Introduction to Global Liberal Arts II	1後	4			6	7					
	Philosophy Basics	1前	4						1			
	Science Basics	1後	4						1			
	Statistics	1後	4				1					
	Research Design and Research Method	1前	4				1					
	Algorithm and Programming	1前	4				1					
	Global Conflicts: An Introduction	2後	4			1						
	Globalization and International Relations: An Introduction	2前	4			1						
	Introduction to Asian Studies	2前	4				1					
	海外スタディ I	1・2・ 3・4後	2								1	
	海外スタディ II	1・2・ 3・4後	4								1	
	言語・文化・社会AIX(海外留学プログラム)	1後、 2・3前 後、4 前	2								1	
	言語・文化・社会AX(海外留学プログラム)	1後、 2・3前 後、4 前	2								1	
	言語・文化・社会BXⅢ(海外留学プログラム)	2後～ 3前・3 後～4 前	2								1	
	言語・文化・社会BXⅣ(海外留学プログラム)	2後～ 3前・3 後～4 前	2								1	
	言語・文化・社会BXⅤ(海外留学プログラム)	2後～ 3前・3 後～4 前	2								1	
	言語・文化・社会BXⅥ(海外留学プログラム)	2後～ 3前・3 後～4 前	2								1	
	言語・文化・社会CⅢ(海外留学プログラム)	2・3・4 前	3								1	
	Asian Community Leadership Seminar	2・3・4 後	2								1	
小計(20科目)	-	-	16	47	0	6	7	0	2	0	4	
Cosmopolitan Studies	Cultural Studies	1後	4				1					
	Postcolonial Studies	2後	4				1					
	Critical Area Studies	2前	4				1					
	Media Studies	2後	4			1						
	Theory and Practice of Fieldwork	2前	2			1						
	Fieldwork on Media Studies	2休	2			1						
	History of Arts	2前	4				1					
	Arts in Society	2後	4				1					
Asia and the World in Historical Perspective	3前	4				1						

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
Essentials of Global Liberal Arts	Introduction to Global Liberal Arts I	1前	4			2	4					
	Introduction to Global Liberal Arts II	1後	4			6	7					
	Philosophy Basics	1前	4							1		
	Science Basics	1後	4							1		
	Statistics	1後	4				1					
	Research Design and Research Method	1前	4				1					
	Algorithm and Programming	1前	4				1					
	Global Conflicts: An Introduction	2後	4			1						
	Globalization and International Relations: An Introduction	2前	4			1						
	Introduction to Asian Studies	2前	4				1					
	海外スタディ I	1・2・ 3・4後	2								1	
	海外スタディ II	1・2・ 3・4後	4								1	
	言語・文化・社会AIX(海外留学プログラム)	1後、 2・3前 後、4 前	2								1	
	言語・文化・社会AX(海外留学プログラム)	1後、 2・3前 後、4 前	2								1	
	言語・文化・社会BXⅢ(海外留学プログラム)	2後～ 3前・3 後～4 前	2								1	
	言語・文化・社会BXⅣ(海外留学プログラム)	2後～ 3前・3 後～4 前	2								1	
	言語・文化・社会BXⅤ(海外留学プログラム)	2後～ 3前・3 後～4 前	2								1	
	言語・文化・社会BXⅥ(海外留学プログラム)	2後～ 3前・3 後～4 前	2								1	
	言語・文化・社会CⅢ(海外留学プログラム)	2・3・4 前	3								1	
	Asian Community Leadership Seminar	2・3・4 後	2								1	
小計(20科目)	-	-	16	47	0	6	7	0	2	0	4	
Cosmopolitan Studies	Cultural Studies	1後	4				1					
	Postcolonial Studies	2後	4				1					
	Critical Area Studies	2前	4				1					
	Media Studies	2後	4			1						
	Theory and Practice of Fieldwork	2前	2			1						
	Fieldwork on Media Studies	2休	2			1						
	History of Arts	2前	4				1					
	Arts in Society	2後	4				1					
Asia and the World in Historical Perspective	3前	4				1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
Cosmopolitan Studies	Regional Diversity in Cultural Perspective	3後		4		1						
	Special Lecture on Cosmopolitan Studies I	1休		2		1						
	Special Lecture on Cosmopolitan Studies II	2後		2				1				
	日豪関係Ⅱ(海外留学プログラム)	1・2・3・4後		1							1	
	日豪関係Ⅲ(海外留学プログラム)	1・2・3・4後		1							1	
	日豪関係Ⅳ(海外留学プログラム)	1・2・3・4後		1							1	
	カナダ研究(海外留学プログラム)	2後～3前・3後～4前		4							1	
	Regional Anatomy(海外留学プログラム)	1・2・3・4後		4							1	
	Global Issues and Perspectives(海外留学プログラム)	1・2・3・4後		4							1	
小計(18科目)	-		4	51	0	1	4	0	1	0	3	
Civilization Studies	Civilizations in Global History	1後	4			1						
	Sociological Theories: Classics and Contemporary	2前		4		1						
	Macrohistory and Metahistory	2後		4		1						
	History of Modern World	2前		4			1					
	Evolution of Governance	2後		4			1					
	Institutionalism in Social Studies	2前		4			1					
	Evolution of Market Economy	2後		4			1					
	Comparative Politics in Asia	3前		4			1					
	International Relations in the Asia-Pacific	3後		4			1					
	War and Peace in the Globalizing World	3前		4		1						
	Special Lecture on Civilization Studies I	1後		2		1						
	Special Lecture on Civilization Studies II	2前		2					1			
	異文化間コミュニケーション(海外留学プログラム)	2後～3前・3後～4前		4							1	
環太平洋研究(海外留学プログラム)	2後～3前・3後～4前		4							1		
小計(14科目)	-		4	48	0	2	3	0	1	0	1	
Innovation Studies	Knowledge and Innovation	1前	4			1						
	Applied Research Method for Social Sciences	2前		4			1					
	Social Impacts of Brain Science	2前		4		1						
	Human Intelligence	2後		4		1						
	Design and Society	2前		4			1					
	Design Practice	2後		4			1					
	Social Change with AI	2後		4			1					
	Human Security in Developing Societies	3前		4			1					
	Social and Technological Innovation	3後		4		1						
	Leadership in Global Perspective	3前		4		1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
Cosmopolitan Studies	Regional Diversity in Cultural Perspective	3後		4		1						
	Special Lecture on Cosmopolitan Studies I	1休		2			1					
	Special Lecture on Cosmopolitan Studies II	2後		2					1			
	日豪関係Ⅱ(海外留学プログラム)	1・2・3・4後		1							1	
	日豪関係Ⅲ(海外留学プログラム)	1・2・3・4後		1							1	
	日豪関係Ⅳ(海外留学プログラム)	1・2・3・4後		1							1	
	カナダ研究(海外留学プログラム)	2後～3前・3後～4前		4							1	
	Regional Anatomy(海外留学プログラム)	1・2・3・4後		4							1	
	Global Issues and Perspectives(海外留学プログラム)	1・2・3・4後		4							1	
小計(18科目)	-		4	51	0	1	4	0	1	0	3	
Civilization Studies	Civilizations in Global History	1後	4			1						
	Sociological Theories: Classics and Contemporary	2前		4		1						
	Macrohistory and Metahistory	2後		4		1						
	History of Modern World	2前		4			1					
	Evolution of Governance	2後		4			1					
	Institutionalism in Social Studies	2前		4			1					
	Evolution of Market Economy	2後		4			1					
	Comparative Politics in Asia	3前		4			1					
	International Relations in the Asia-Pacific	3後		4			1					
	War and Peace in the Globalizing World	3前		4		1						
	Special Lecture on Civilization Studies I	1後		2		1						
	Special Lecture on Civilization Studies II	2前		2					1			
	異文化間コミュニケーション(海外留学プログラム)	2後～3前・3後～4前		4							1	
環太平洋研究(海外留学プログラム)	2後～3前・3後～4前		4							1		
小計(14科目)	-		4	48	0	2	3	0	1	0	1	
Innovation Studies	Knowledge and Innovation	1前	4			1						
	Applied Research Method for Social Sciences	2前		4			1					
	Social Impacts of Brain Science	2前		4		1						
	Human Intelligence	2後		4		1						
	Design and Society	2前		4			1					
	Design Practice	2後		4			1					
	Social Change with AI	2後		4			1					
	Human Security in Developing Societies	3前		4			1					
	Social and Technological Innovation	3後		4		1						
	Leadership in Global Perspective	3前		4		1						

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
Innovation Studies	Special Lecture on Innovation Studies I	1休		2					1		
	Special Lecture on Innovation Studies II	2後		2			1				
	Internship I	2休		1		1					
	Internship II	2休		2		1					
	言語・文化・社会CIV(海外留学プログラム)	2・3・4前		5							1
	言語・文化・社会DIII(海外留学プログラム)	2・3・4後		4							1
	言語・文化・社会DIV(海外留学プログラム)	2・3・4後		4							1
	言語・文化・社会DV(海外留学プログラム)	2・3・4後		4							1
小計(18科目)	-		4	60	0	2	4	0	1	0	1
Japanese Studies Cluster	Contemporary Japan	2後		4							1
	Modern History of Japan	2前		4		1					
	Japan in Global History	2後		4		1					
	Japanese Philosophy	2前		4				1			
	Japanese Language and Culture I	3前		4							1
	Japanese Language and Culture II	3後		4							1
	Politics and Foreign Relations of Japan	3後		4		1					
小計(7科目)	-		0	28	0	1	0	0	1	0	
Languages	Academic English	2前		4							1
	Japanese Language I	1前		2							2
	Japanese Language II	1後		2							2
	Japanese Language III	2前		2							2
	Japanese Language IV	2後		2							2
	日豪関係I(海外留学プログラム)	1・2・3・4後		5							1
	Grammar I(海外留学プログラム)	2・3前後、4前		1							1
	Grammar II(海外留学プログラム)	1後、2・3前後、4前		1							1
	Listening I(海外留学プログラム)	1後、2・3・4前後		1							1
	Listening II(海外留学プログラム)	1後、2・3・4前後		1							1
	Reading I(海外留学プログラム)	1後、2・3・4前後		1							1
	Reading II(海外留学プログラム)	1後、2・3・4前後		1							1
	Speaking I(海外留学プログラム)	1後、2・3・4前後		1							1
	Speaking II(海外留学プログラム)	1後、2・3・4前後		1							1
	Writing I(海外留学プログラム)	1後、2・3・4前後		1							1
	Writing II(海外留学プログラム)	1後、2・3・4前後		1							1
	Speaking & Listening I(海外留学プログラム)	2・3前後、4前		1							1

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
Innovation Studies	Special Lecture on Innovation Studies I	1休		2						1	
	Special Lecture on Innovation Studies II	2後		2			1				
	Internship I	2休		1		1					
	Internship II	2休		2		1					
	言語・文化・社会CIV(海外留学プログラム)	2・3・4前		5							1
	言語・文化・社会DIII(海外留学プログラム)	2・3・4後		4							1
	言語・文化・社会DIV(海外留学プログラム)	2・3・4後		4							1
	言語・文化・社会DV(海外留学プログラム)	2・3・4後		4							1
小計(18科目)	-		4	60	0	2	4	0	1	0	1
Japanese Studies Cluster	Contemporary Japan	2後		4							1
	Modern History of Japan	2前		4		1					
	Japan in Global History	2後		4		1					
	Japanese Philosophy	2前		4					1		
	Japanese Language and Culture I	3前		4							1
	Japanese Language and Culture II	3後		4							1
	Politics and Foreign Relations of Japan	3後		4		1					
小計(7科目)	-		0	28	0	1	0	0	1	0	
Languages	Academic English	2前		4							1
	Japanese Language I	1前		2					1		2
	Japanese Language II	1後		2					1		1
	Japanese Language III	2前		2							2
	Japanese Language IV	2後		2							2
	日豪関係I(海外留学プログラム)	1・2・3・4後		5							1
	Grammar I(海外留学プログラム)	2・3前後、4前		1							1
	Grammar II(海外留学プログラム)	1後、2・3前後、4前		1							1
	Listening I(海外留学プログラム)	1後、2・3・4前後		1							1
	Listening II(海外留学プログラム)	1後、2・3・4前後		1							1
	Reading I(海外留学プログラム)	1後、2・3・4前後		1							1
	Reading II(海外留学プログラム)	1後、2・3・4前後		1							1
	Speaking I(海外留学プログラム)	1後、2・3・4前後		1							1
	Speaking II(海外留学プログラム)	1後、2・3・4前後		1							1
	Writing I(海外留学プログラム)	1後、2・3・4前後		1							1
	Writing II(海外留学プログラム)	1後、2・3・4前後		1							1
	Speaking & Listening I(海外留学プログラム)	2・3前後、4前		1							1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
Languages	Speaking & Listening II (海外留学プログラム)	1後、2・3前後、4前		1							1
	言語・文化・社会C I (海外留学プログラム)	2・3・4前		3							1
	言語・文化・社会C II (海外留学プログラム)	2・3・4前		3							1
	言語・文化・社会D I (海外留学プログラム)	2・3・4後		2							1
	言語・文化・社会D II (海外留学プログラム)	2・3・4後		2							1
	Academic English Skills (海外留学プログラム)	1・2・3・4後		2							1
	English as Second Language (海外留学プログラム)	1・2・3・4後		2							1
	English Language Skills and Competencies (海外留学プログラム)	1・2・3・4後		2							1
	異文化理解セミナー(海外留学プログラム)	1・2・3・4後			2						1
	文化・社会調査(海外留学プログラム)	1・2・3・4後			2						1
Global Fieldwork Project	1・2・3・4後			2						1	
小計(28科目)	-	-	0	45	6	0	0	0	0	0	9
Capstone Studies	Research Seminar I	4前・後		4		6	8				1
	Research Seminar II	4前・後		4		6	8				
	Thesis	4前・後		4		6	8				
	Capstone Studies in Normative Perspective to Globalization	4後		4			1				
	Capstone Studies in Geohistorical Perspective to Globalization	4前		4			1				1
	Capstone Studies in Development and Social Change	4後		4			1				1
	Capstone Studies in Governance Studies	4後		4			1				
小計(7科目)	-	-	12	16	0	6	9	0	0	0	0
合計(112科目)	-	-	40	295	6	6	9	0	3	0	15
卒業要件及び履修方法											
卒業必要単位数124単位を以下の(1)~(6)すべての要件を満たして履修する。 (1) Essentials of Global Liberal Artsから32単位以上を修得。 (2) Cosmopolitan Studiesから12単位以上を修得。 (3) Civilization Studiesから12単位以上を修得。 (4) Innovation Studiesから12単位以上を修得。 (5) Japanese Studies Clusterから4単位以上を修得。 (6) Capstone Studiesから12単位以上を修得。 (履修科目の登録の上限:1~4年次各40単位)											

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
Languages	Speaking & Listening II (海外留学プログラム)	1後、2・3前後、4前		1							1
	言語・文化・社会C I (海外留学プログラム)	2・3・4前		3							1
	言語・文化・社会C II (海外留学プログラム)	2・3・4前		3							1
	言語・文化・社会D I (海外留学プログラム)	2・3・4後		2							1
	言語・文化・社会D II (海外留学プログラム)	2・3・4後		2							1
	Academic English Skills (海外留学プログラム)	1・2・3・4後		2							1
	English as Second Language (海外留学プログラム)	1・2・3・4後		2							1
	English Language Skills and Competencies (海外留学プログラム)	1・2・3・4後		2							1
	異文化理解セミナー(海外留学プログラム)	1・2・3・4後			2						1
	文化・社会調査(海外留学プログラム)	1・2・3・4後			2						1
Global Fieldwork Project	1・2・3・4後			2						1	
小計(28科目)	-	-	0	45	6	0	0	0	0	0	9
Capstone Studies	Research Seminar I	4前・後		4		6	8				1
	Research Seminar II	4前・後		4		6	8				
	Thesis	4前・後		4		6	8				
	Capstone Studies in Normative Perspective to Globalization	4後		4			1				
	Capstone Studies in Geohistorical Perspective to Globalization	4前		4			1				1
	Capstone Studies in Development and Social Change	4後		4			1				1
	Capstone Studies in Governance Studies	4後		4			1				
小計(7科目)	-	-	12	16	0	6	9	0	0	0	0
合計(112科目)	-	-	40	295	6	6	9	0	3	0	15
卒業要件及び履修方法											
卒業必要単位数124単位を以下の(1)~(6)すべての要件を満たして履修する。 (1) Essentials of Global Liberal Artsから32単位以上を修得。 (2) Cosmopolitan Studiesから12単位以上を修得。 (3) Civilization Studiesから12単位以上を修得。 (4) Innovation Studiesから12単位以上を修得。 (5) Japanese Studies Clusterから4単位以上を修得。 (6) Capstone Studiesから12単位以上を修得。 (履修科目の登録の上限:1~4年次各40単位)											

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には、設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ①授業科目表に関する変更内容

【令和元年度】

- 適正なクラス数の配置により、「Introduction to Global Liberal Arts I」の教員の配置を「教授6」「准教授7」から「教授2」「准教授4」に変更。
- 担当教員変更により、「Japanese Language and Culture I」の教員の配置を「兼任・兼担1」から「准教授1」に変更。
- 担当教員変更により、「Japanese Language I」の教員の配置を「兼任・兼担2」から「准教授1」「兼任・兼担2」に変更。
- 担当教員変更により、「Japanese Language II」の教員の配置を「兼任・兼担2」から「准教授1」「兼任・兼担1」に変更。

- (注) ▪ 2(1)①授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
10 科目	99 科目	3 科目	112 科目	10 科目 [0]	99 科目 [0]	3 科目 [0]	112 科目 [0]	

- (注) ▪ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: △1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目 (3) と廃止科目 (4) の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計 (A)}} = \frac{0}{112} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考					
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計						
	校舎敷地	921,395.92㎡	0㎡	0㎡	921,395.92㎡						
	運動場用地	93,310.74㎡	0㎡	0㎡	93,310.74㎡						
	小 計	1,014,706.66㎡	0㎡	0㎡	1,014,706.66㎡						
	そ の 他	390,346.81㎡	0㎡	0㎡	390,346.81㎡						
	合 計	1,405,053.47㎡	0㎡	0㎡	1,405,053.47㎡						
(2) 校 舎	専 用	527,708.27㎡ 530,814.81㎡	0㎡	0㎡	527,708.27㎡ 530,814.81㎡	OIC心理・教育相談センター新設に伴い実験実習室の増(元) 職員：従事職員数の変更によるもの。(元)					
	(530,814.81㎡)	(0㎡)	(0㎡)	(530,814.81㎡)							
(3) 教 室 等	講 義 室	129室	演 習 室	560室	実験実習室	803室 802室	情報処理学習施設	39室	語学学習施設	21室	OIC心理・教育相談センター新設に伴い実験実習室の増(元) 職員：従事職員数の変更によるもの。(元)
					(補助職員 3人) (補助職員 6人)	(補助職員 52人) (補助職員 53人)					
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数							
	グローバル教養学部 グローバル教養学科			24 室							
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕	学術雑誌 〔うち外国書〕		視聴覚資料 一 点	機 械 ・ 器 具 一 点	標 本 一 点	大学全体で共用			
		冊	種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕							
	グローバル教養学部 グローバル教養学科	1,805,274〔510,450〕 (1,805,274〔510,450〕)	22,548〔18,473〕 (22,548〔18,473〕)	18,436〔18,015〕 (18,436〔18,015〕)	20,037 (20,037)	()	()				
	計	1,805,274〔510,450〕 (1,805,274〔510,450〕)	22,548〔18,473〕 (22,548〔18,473〕)	18,436〔18,015〕 (18,436〔18,015〕)	20,037 (20,037)	()	()				
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体				
	44,148.91㎡		5,423席		4,574,000冊						
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要								
	27,540.62㎡		終 野 室 内 練 習 場 鉄 骨 造 鋼 板 葺 平 屋 建 2,025 ㎡								
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度				
		教員1人当り研究費等	578千円	583千円	図書購入費	20,000千円	3,280千円				12,666千円
	共同研究費等	78,797千円	79,985千円	設備購入費	618,000千円	4,270千円	16,481千円				
	学生1人当り	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次				
	納付金	2,600千円	2,300千円	2,300千円	2,300千円	-	-				
学生納付金以外の維持方法の概要		手数料収入、寄付金収入及び補助金収入等により維持する。									

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(元)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	立命館大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	年度	年度	年度	
法学部 法学科	4	720	—	3,055	学士 (法学)	0.98	—	昭和23年度	京都府京都市北区等持院北町56番地の1	平成30年度入学定員減(△35人) 平成31年度入学定員減(△35人)
経済学部 経済学科 国際経済学科	4 4 4	760 760 —	— — —	3,085 2,885 —	— 学士 (経済学) 学士 (経済学)	1.02 1.02 —	— — —	— 昭和23年度 平成18年度	— 滋賀県草津市野路東1丁目1番1号	— 平成29年度入学定員増(260人) 平成31年度入学定員減(△35人) 平成29年度より学生募集停止
経営学部 経営学科 国際経営学科	4 4 4	795 650 145	— — —	3,205 2,610 595	— 学士 (経営学) 学士 (経営学)	1.00 1.00 0.98	— — —	— 昭和37年度 平成18年度	— 大阪府茨木市岩倉町2番150号	— 平成29年度入学定員増(65人) 平成31年度入学定員減(△25人) 平成31年度入学定員減(△5人)
産業社会学部 現代社会学科 現代社会専攻 メディア社会専攻 スポーツ社会専攻 人間福祉専攻 子ども社会専攻	4 4 4 4	810 810 760 50	— — — —	3,420 3,420 3,200 220	— 学士 (社会学) 学士 (社会学) 学士 (社会学)	1.00 1.00 1.00 1.02	— — — —	— 平成19年度 平成19年度 平成19年度	— 京都府京都市北区等持院北町56番地の1	— 平成30年度入学定員減(△80人) 平成30年度入学定員減(△10人)
文学部 人文学科	4	980	—	3,845	学士 (文学)	0.99	—	平成16年度	京都府京都市北区等持院北町56番地の1	平成29年度入学定員増(75人)(文学部人文学科)
理工学部 電気電子工学科 機械工学科 環境都市工学科 都市システム工学科 環境システム工学科 電子光情報工学科 ロボティクス学科 数理科学科 物理科学科 電子情報工学科 マイカ機械システム工学科 建築都市デザイン学科	4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	959 154 173 166 — — — 90 97 86 102 — 91	3年次46 3年次12 3年次10 3年次4 3年次2 3年次2 — 3年次6 — 3年次2 3年次8 — 3年次4	3,851 628 699 332 — — — 365 381 340 416 — 363	— 学士 (工学) 学士 (工学) 学士 (工学) 学士 (工学) — 学士 (工学) 学士 (工学) 学士 (理学) 学士 (理学) 学士 (工学) — 学士 (工学)	0.99 0.98 0.97 0.97 — — — 1.01 0.97 0.95 0.97 — — 1.01	— — — 平成30年度 — — — — — — — — — —	— 昭和24年度 昭和24年度 平成30年度 平成16年度 — — 平成8年度 平成8年度 平成12年度 平成12年度 平成16年度 平成16年度 平成16年度	— — — 滋賀県草津市野路東1丁目1番1号	— 平成29年度入学定員増(12人) 平成29年度入学定員増(13人) (3年次編入学定員は令和2年度より入学) 平成30年度より学生募集停止(3年次編入学定員は令和2年度より学生募集停止) 平成30年度より学生募集停止(3年次編入学定員は令和2年度より学生募集停止) 平成24年度より学生募集停止 平成29年度入学定員増(7人) 平成29年度入学定員増(7人) 平成29年度入学定員増(6人) 平成29年度入学定員増(8人) 平成24年度より学生募集停止 平成29年度入学定員増(21人) (3年次編入学定員は令和元年度より減△12人)
国際関係学部 国際関係学科 7月1日加大学・立命館大学国際連携学科	4 4 4	360 335 25	— — —	1,360 1,310 50	— 学士 (国際関係学) 学士 (グローバル国際関係学)	0.93 0.94 0.44	— — 平成30年度	— 昭和63年度 平成30年度	— 京都府京都市北区等持院北町56番地の1	— 平成29年度入学定員増(30人)

政策科学部												
政策科学科	4	410	—	1,590	学士 (政策科学)	1.01	—	平成 6年度	大阪府茨木市岩倉 町2番150号	平成29年度入学定員増 (50 人)		
情報理工学部	4	475	3年次 40	1,945	—	0.98	—	—				
情報理工学科	4	475	3年次 40	1,465	学士 (工学)	0.95	平成 29年度	平成 29年度				
情報システム学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	—	平成 16年度	滋賀県草津市野路 東1丁目1番1号	平成29年度より学生募集停止		
情報コミュニケーション学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	—	平成 16年度		平成29年度より学生募集停止		
メディア情報学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	—	平成 16年度		平成29年度より学生募集停止		
知能情報学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	—	平成 16年度		平成29年度より学生募集停止		
映像学部												
映像学科	4	160	—	630	学士 (映像学)	1.00	—	平成 19年度	京都府京都市北区 等持院北町56番地 の1	平成29年度入学定員増 (10 人)		
薬学部	6	100	—	600	—	1.01	—	—		6年制学科		
	4	60	—	240	—	0.98	—	—		4年制学科		
薬学科	6	100	—	600	学士 (薬学)	1.01	—	平成 20年度	滋賀県草津市野路 東1丁目1番1号			
創薬科学科	4	60	—	240	学士 (薬科学)	0.98	—	平成 27年度				
生命科学部												
応用化学科	4	111	—	413	学士 (理学)	1.01	—	平成 20年度		平成29年度入学定員増 (31 人)		
生物工学科	4	86	—	338	学士 (工学)	1.00	—	平成 20年度	滋賀県草津市野路 東1丁目1番1号	平成29年度入学定員増 (6 人)		
生命情報学科	4	64	—	252	学士 (理学)	0.90	—	平成 20年度		平成29年度入学定員増 (4 人)		
生命医科学科	4	64	—	252	学士 (理学)	1.03	—	平成 20年度		平成29年度入学定員増 (4 人)		
スポーツ健康科学部												
スポーツ健康科学科	4	235	—	925	学士 (スポーツ健康 科学)	1.04	—	平成 22年度	滋賀県草津市野路 東1丁目1番1号	平成29年度入学定員増 (15 人)		
総合心理学部												
総合心理学科	4	280	—	1,120	学士 (心理学)	1.02	平成 28年度	平成 28年度	大阪府茨木市岩倉 町2番150号			
食マネジメント学部												
食マネジメント学科	4	320	—	640	学士 (食マネジメ ント)	0.94	平成 30年度	平成 30年度	滋賀県草津市野路 東1丁目1番1号			
グローバル教養学部												
グローバル教養学科	4	100	—	100	学士 (グローバル教 養学)	0.23	平成 31年度	平成 31年度	大阪府茨木市岩倉 町2番150号			
大学全体	4 6	7,849	86	30,866	—	0.94	—	—	—			
法学研究科												
法学専攻												
博士課程前期課程	2	60	—	120	修士 (法学)	0.36	—	昭和 25年度	京都府京都市北区 等持院北町56番地 の1			
博士課程後期課程	3	10	—	30	博士 (法学)	0.10	—	昭和 28年度				
経済学研究科												
経済学専攻												
博士課程前期課程	2	50	—	100	修士 (経済学)	0.76	—	昭和 25年度	滋賀県草津市野路 東1丁目1番1号			
博士課程後期課程	3	5	—	15	博士 (経済学)	1.00	—	昭和 39年度				
経営学研究科												
企業経営専攻												
博士課程前期課程	2	60	—	120	修士 (経営学)	0.58	—	昭和 41年度	大阪府茨木市岩倉 町2番150号			
博士課程後期課程	3	15	—	45	博士 (経営学)	0.15	—	昭和 41年度				
社会学研究科												
応用社会学専攻												
博士課程前期課程	2	60	—	120	修士 (社会学)	0.45	—	昭和 47年度	京都府京都市北区 等持院北町56番地 の1			
博士課程後期課程	3	15	—	45	博士 (社会学)	0.32	—	昭和 49年度				

文学研究科											
人文学専攻											
博士課程前期課程	2	70	—	140	修士 (文学)	0.57	—	平成 18年度	京都府京都市北区 等持院北町56番地 の1		
博士課程後期課程	3	20	—	60	博士 (文学)	0.68	—	平成 18年度			
行動文化情報学専攻											
博士課程前期課程	2	35	—	70	修士 (文学)	0.32	—	平成 26年度			
博士課程後期課程	3	15	—	45	博士 (文学)	0.08	—	平成 26年度			
理工学研究科											
基礎理工学専攻											
博士課程前期課程	2	50	—	100	修士 (理学)	0.89	—	平成 18年度	滋賀県草津市野路 東1丁目1番1号		
博士課程後期課程	3	6	—	18	修士 (工学)						
電子システム専攻											
博士課程前期課程	2	140	—	280	修士 (理学)	0.71	—	平成 24年度			
博士課程後期課程	3	8	—	24	博士 (工学)	0.62	—	平成 24年度			
機械システム専攻											
博士課程前期課程	2	140	—	280	修士 (工学)	0.84	—	平成 24年度			
博士課程後期課程	3	11	—	33	博士 (工学)	0.62	—	平成 24年度			
環境都市専攻											
博士課程前期課程	2	120	—	240	修士 (工学)	0.96	—	平成 24年度			
博士課程後期課程	3	15	—	45	博士 (工学)	0.45	—	平成 24年度			
国際関係研究科											
国際関係学専攻											
博士課程前期課程	2	60	—	120	修士 (国際関係学)	0.75	—	平成 4年度	京都府京都市北区 等持院北町56番地 の1		
博士課程後期課程	3	10	—	30	博士 (国際関係学)	0.70	—	平成 6年度			
政策科学研究科											
政策科学専攻											
博士課程前期課程	2	40	—	80	修士 (政策科学)	0.58	—	平成 9年度	大阪府茨木市岩倉 町2番150号		
博士課程後期課程	3	15	—	45	博士 (政策科学)	0.41	—	平成 11年度			
応用人間科学研究科											
応用人間科学専攻											
修士課程	2	—	—	—	修士 (人間科学)	—	—	平成 13年度	京都府京都市北区 等持院北町56番地 の1	平成30年度より学生募集停止	
言語教育情報研究科											
言語教育情報専攻											
修士課程	2	60	—	120	修士 (言語教育情報学)	0.61	—	平成 15年度	京都府京都市北区 等持院北町56番地 の1		
テクノロジー・マネジメント研究科											
テクノロジー・マネジメント専攻											
博士課程前期課程	2	70	—	140	修士 (技術経営)	0.90	—	平成 17年度	大阪府茨木市岩倉 町2番150号		
博士課程後期課程	3	5	—	15	博士 (技術経営)	1.40	—	平成 18年度			
公務研究科											
公共政策専攻											
修士課程	2	—	—	—	修士 (公共政策)	—	—	平成 19年度	京都府京都市中京 区西ノ京東桐尾町 8番地	平成30年度より学生募集停止	
スポーツ健康科学研究科											
スポーツ健康科学専攻											
博士課程前期課程	2	25	—	50	修士 (スポーツ健康科学)	1.14	—	平成 22年度	滋賀県草津市野路 東1丁目1番1号		
博士課程後期課程	3	8	—	24	博士 (スポーツ健康科学)	0.79	—	平成 24年度			

映像研究科 映像専攻 修士課程	2	10	—	20	修士 (映像)	0.90		平成 23年度	京都府京都市北区 等持院北町56番地 の1	
情報理工学研究科 情報理工学専攻 博士課程前期課程 博士課程後期課程	2 3	200 15	— —	400 45	修士 (工学) 修士 (工学)	0.92 0.70	— —	平成 24年度 平成 24年度	滋賀県草津市野路 東1丁目1番1号	
生命科学研究科 生命科学専攻 博士課程前期課程 博士課程後期課程	2 3	150 15	— —	300 45	修士 (理学) 修士 (工学) 博士 (理学) 博士 (工学)	1.01 0.46	— —	平成 24年度 平成 24年度	滋賀県草津市野路 東1丁目1番1号	
先端総合学術研究科 先端総合学術専攻 一貫制博士課程	5	30	—	150	博士 (学術)	0.27		平成 15年度	京都府京都市北区 等持院北町56番地 の1	
薬学研究科 薬学専攻 博士課程	4	3	—	12	博士 (薬学)	1.16	—	平成 26年度	滋賀県草津市野路 東1丁目1番1号	
人間科学研究科 人間科学専攻 博士課程前期課程 博士課程後期課程	2 3	65 20	— —	130 40	修士 (人間科学) 修士 (心理学) 博士 (人間科学) 博士 (心理学)	0.88 1.22	平成 30年度 平成 30年度	平成 30年度 平成 30年度	大阪府茨木市岩倉 町2番150号	
法務研究科 法曹養成専攻 専門職学位課程	3	70	—	210	法務博士 (専門職)	0.44	—	平成 16年度	京都府京都市中京 区西ノ京東桐尾町 8番地	
経営管理研究科 経営管理専攻 専門職学位課程	2	80	—	160	経営修士 (専門職)	0.64	—	平成 18年度	大阪府茨木市岩倉 町2番150号	
教職研究科 実践教育専攻 専門職学位課程	2	35	—	70	教職修士 (専門職)	0.91	—	平成 29年度	京都府京都市中京 区西ノ京東桐尾町 8番地	
大学院全体	2 3 4 5	1,891	—	4,136	—	0.67	—	—	—	

大学の名称	立命館アジア太平洋大学									備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所在地	
アジア太平洋学部	年	人	年次 人	人		倍				
アジア太平洋学科	4	660	2年次 12 3年次 18	2,652	学士 (アジア太平 洋学)	0.94	平成 29年度	平成 12年度	大分県別府市十文 字原1丁目1番	平成29年度入学定員増 (60 人)
国際経営学部			2年次 22 3年次 31							
国際経営学科	4	660	2年次 22 3年次 31	2,708	学士 (経営学)	0.86	平成 29年度	平成 12年度	大分県別府市十文 字原1丁目1番	平成29年度入学定員増 (60 人)
大学全体	4	1,320	83	5,360	—	0.90	—	—	—	

アジア太平洋研究科 アジア太平洋学専攻										
博士課程前期課程	2	15	—	30	修士 (アジア太平洋学)	0.60	—	平成 15年度	大分県別府市十文字原1丁目1番	
博士課程後期課程	3	10	—	30	博士 (アジア太平洋学)	0.35	—	平成 15年度		
国際協力政策専攻 博士課程前期課程	2	45	—	90	修士 (国際協力政策)	0.30	—	平成 15年度		
経営管理研究科 経営管理専攻 修士課程	2	40	—	80	修士 (経営管理)	0.24	—	平成 15年度	大分県別府市十文字原1丁目1番	
大学院全体	$\frac{2}{3}$	110	—	230	—	0.37	—	—	—	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き(平成31年度改訂版)」と同じです。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<グローバル教養学部 グローバル教養学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	金山 勉 (58) <平成31年4月> Ph. D. in Mass Communication	Introduction to Global Liberal Arts I Introduction to Global Liberal Arts II Media Studies Theory and Practice of Fieldwork Fieldwork on Media Studies Regional Diversity in Cultural Perspective Research Seminar I Research Seminar II Thesis
専	教授	崔 裕眞 (47) <平成31年4月> Ph. D. in Business History	Introduction to Global Liberal Arts I Introduction to Global Liberal Arts II Knowledge and Innovation Social and Technological Innovation【隔年】 Leadership in Global Perspective【隔年】 Internship I Internship II Research Seminar I Research Seminar II Thesis
専	教授	藤田 加代子 (51) <平成31年4月> 修士(史学)	Introduction to Global Liberal Arts I Introduction to Global Liberal Arts II Social Impacts of Brain Science Human Intelligence Research Seminar I Research Seminar II Thesis
専	教授	前川 一郎 (49) <平成31年4月> 博士(人文学)	Introduction to Global Liberal Arts I Introduction to Global Liberal Arts II Global Conflicts: An Introduction Civilizations in Global History War and Peace in the Globalizing World Special Lecture on Civilization Studies I Research Seminar I Research Seminar II Thesis
専	教授	山岸(青山) 典子 (59) <平成31年4月> Ph. D. (Cognitive Psychology)	Introduction to Global Liberal Arts I Introduction to Global Liberal Arts II Social Impacts of Brain Science Human Intelligence Research Seminar I Research Seminar II Thesis
専	教授	山下 範久 (47) <平成31年4月> 修士(学術)	Introduction to Global Liberal Arts I Introduction to Global Liberal Arts II Globalization and International Relations: An Introduction Sociological Theories: Classics and Contemporary Macrohistory and Metahistory Research Seminar I Research Seminar II Thesis
専	准教授	小林 ハッサル 柔子 (49) <平成31年4月> Ph. D. in Southeast Asian Studies	Introduction to Global Liberal Arts I Introduction to Global Liberal Arts II Postcolonial Studies Asia and the World in Historical Perspective【隔年】 Research Seminar I Research Seminar II Thesis Capstone Studies in Geohistorical Perspective to Globalization【隔年】

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	金山 勉 (58) <平成31年4月> Ph. D. in Mass Communication	Introduction to Global Liberal Arts I Introduction to Global Liberal Arts II Media Studies Theory and Practice of Fieldwork Fieldwork on Media Studies Regional Diversity in Cultural Perspective Research Seminar I Research Seminar II Thesis
専	教授	崔 裕眞 (47) <平成31年4月> Ph. D. in Business History	Introduction to Global Liberal Arts I Introduction to Global Liberal Arts II Knowledge and Innovation Social and Technological Innovation【隔年】 Leadership in Global Perspective【隔年】 Internship I Internship II Research Seminar I Research Seminar II Thesis
専	教授	藤田 加代子 (51) <平成31年4月> 修士(史学)	Introduction to Global Liberal Arts I Introduction to Global Liberal Arts II Social Impacts of Brain Science Human Intelligence Research Seminar I Research Seminar II Thesis
専	教授	前川 一郎 (49) <平成31年4月> 博士(人文学)	Introduction to Global Liberal Arts I Introduction to Global Liberal Arts II Global Conflicts: An Introduction Civilizations in Global History War and Peace in the Globalizing World Special Lecture on Civilization Studies I Research Seminar I Research Seminar II Thesis
専	教授	山岸(青山) 典子 (59) <平成31年4月> Ph. D. (Cognitive Psychology)	Introduction to Global Liberal Arts I Introduction to Global Liberal Arts II Social Impacts of Brain Science Human Intelligence Research Seminar I Research Seminar II Thesis
専	教授	山下 範久 (47) <平成31年4月> 修士(学術)	Introduction to Global Liberal Arts I Introduction to Global Liberal Arts II Globalization and International Relations: An Introduction Sociological Theories: Classics and Contemporary Macrohistory and Metahistory Research Seminar I Research Seminar II Thesis
専	准教授	小林 ハッサル 柔子 (49) <平成31年4月> Ph. D. in Southeast Asian Studies	Introduction to Global Liberal Arts I Introduction to Global Liberal Arts II Postcolonial Studies Asia and the World in Historical Perspective【隔年】 Research Seminar I Research Seminar II Thesis Capstone Studies in Geohistorical Perspective to Globalization【隔年】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	小山 仁美 (37) <平成31年4月> Ph.D. in Political Science
		Introduction to Global Liberal Arts I Introduction to Global Liberal Arts II History of Modern World Evolution of Governance Comparative Politics in Asia Research Seminar I Research Seminar II Thesis
専	准教授	竹中 歩 (52) <平成31年4月> Ph.D. in Sociology
		Introduction to Global Liberal Arts I Introduction to Global Liberal Arts II Statistics Research Design and Research Method Applied Research Method for Social Sciences Capstone Studies in Normative Perspective to Globalization
専	准教授	CAPKOVA, Helena (38) <平成31年4月> Ph.D. in Transnational Art History
		Introduction to Global Liberal Arts I Introduction to Global Liberal Arts II History of Arts Arts in Society Research Seminar I Research Seminar II Thesis
専	准教授	THOUNY, Christophe (42) <平成31年4月> Ph.D. in Japanese Literature and Media Studies
		Introduction to Global Liberal Arts I Introduction to Global Liberal Arts II Introduction to Asian Studies Cultural Studies Special Lecture on Cosmopolitan Studies I Research Seminar I Research Seminar II Thesis Capstone Studies in Governance Studies
専	准教授	廣野 美和 (42) <平成31年4月> Ph.D. in International Relations
		Critical Area Studies International Relations in the Asia-Pacific Research Seminar I Research Seminar II Thesis
専	准教授	HAIMES, Paul William (38) <平成31年4月> Ph.D. (Digital and Interaction Design)
		Introduction to Global Liberal Arts I Introduction to Global Liberal Arts II Design and Society Design Practice Special Lecture on Innovation Studies II Research Seminar I Research Seminar II Thesis
専	准教授	松田(室岡) 絢子 (36) <平成31年4月> Ph.D. in Agricultural and Resource Economics
		Institutionalism in Social Studies Evolution of Market Economy Human Security in Developing Societies【隔年】 Research Seminar I Research Seminar II Thesis Capstone Studies in Development and Social Change【隔年】
専	准教授	MARUTSCHKE, Daniel Moritz (38) <平成31年4月> 博士(学術)
		Introduction to Global Liberal Arts I Introduction to Global Liberal Arts II Algorithm and Programming Social Change with AI Research Seminar I Research Seminar II Thesis

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	小山 仁美 (37) <平成31年4月> Ph.D. in Political Science
		Introduction to Global Liberal Arts I Introduction to Global Liberal Arts II History of Modern World Evolution of Governance Comparative Politics in Asia Research Seminar I Research Seminar II Thesis
専	准教授	竹中 歩 (52) <平成31年4月> Ph.D. in Sociology
		Introduction to Global Liberal Arts I Introduction to Global Liberal Arts II Statistics Research Design and Research Method Applied Research Method for Social Sciences Capstone Studies in Normative Perspective to Globalization
専	准教授	CAPKOVA, Helena (38) <平成31年4月> Ph.D. in Transnational Art History
		Introduction to Global Liberal Arts I Introduction to Global Liberal Arts II History of Arts Arts in Society Research Seminar I Research Seminar II Thesis
専	准教授	THOUNY, Christophe (42) <平成31年4月> Ph.D. in Japanese Literature and Media Studies
		Introduction to Global Liberal Arts I Introduction to Global Liberal Arts II Introduction to Asian Studies Cultural Studies Special Lecture on Cosmopolitan Studies I Research Seminar I Research Seminar II Thesis Capstone Studies in Governance Studies
専	准教授	廣野 美和 (42) <平成31年4月> Ph.D. in International Relations
		Critical Area Studies International Relations in the Asia-Pacific Research Seminar I Research Seminar II Thesis
専	准教授	HAIMES, Paul William (38) <平成31年4月> Ph.D. (Digital and Interaction Design)
		Introduction to Global Liberal Arts I Introduction to Global Liberal Arts II Design and Society Design Practice Special Lecture on Innovation Studies II Research Seminar I Research Seminar II Thesis
専	准教授	松田(室岡) 絢子 (36) <平成31年4月> Ph.D. in Agricultural and Resource Economics
		Institutionalism in Social Studies Evolution of Market Economy Human Security in Developing Societies【隔年】 Research Seminar I Research Seminar II Thesis Capstone Studies in Development and Social Change【隔年】
専	准教授	MARUTSCHKE, Daniel Moritz (38) <平成31年4月> 博士(学術)
		Introduction to Global Liberal Arts I Introduction to Global Liberal Arts II Algorithm and Programming Social Change with AI Research Seminar I Research Seminar II Thesis

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	石原 悠子 (33) <平成31年4月> Ph. D. in Philosophy
		Special Lecture on Civilization Studies II Japanese Philosophy
専	助教	JOHNSON, Christopher Morgan (38) <平成31年4月> Ph. D. (Philosophy)
		Philosophy Basics Special Lecture on Cosmopolitan Studies II
専	助教	MARQUEZ, Gian Powell, Bontigao (32) <平成31年4月> 博士(航空宇宙工学)
		Science Basics Special Lecture on Innovation Studies I
兼任	教授	大野 裕 (57) <平成31年4月> 文学修士
		Japanese Language I
兼任	教授	神子 直之 (55) <平成31年4月> 博士(工学)
		海外スタディ I 海外スタディ II 日豪関係II(海外留学プログラム) 日豪関係III(海外留学プログラム) 日豪関係IV(海外留学プログラム) 日豪関係I(海外留学プログラム) 異文化理解セミナー(海外留学プログラム) 文化・社会調査(海外留学プログラム)
兼任	教授	下條 正純 (52) <平成31年4月> 修士(日本語)
		Japanese Language III
兼任	教授	遠山(安本)千佳 (56) <平成31年4月> 修士(人文科学)
		Japanese Language II
兼任	教授	中村(日暮)ちどり (57) <平成31年4月> 博士(国際文化)
		Japanese Language and Culture II
兼任	教授	藤原(松尾)智栄美 (46) <平成31年4月> 博士(言語文化学)
		Japanese Language and Culture I
兼任	教授	堀江(萩野)未来 (49) <平成31年4月> Ph. D. in Educational Policy and Administration
		Asian Community Leadership Seminar

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	小木曾 左枝子 (50) <平成31年4月> 博士(教育学)
		Japanese Language I Japanese Language II Japanese Language and Culture I
専	助教	石原 悠子 (33) <平成31年4月> Ph. D. in Philosophy
		Special Lecture on Civilization Studies II Japanese Philosophy
専	助教	JOHNSON, Christopher Morgan (38) <平成31年4月> Ph. D. (Philosophy)
		Philosophy Basics Special Lecture on Cosmopolitan Studies II
専	助教	MARQUEZ, Gian Powell, Bontigao (32) <平成31年4月> 博士(航空宇宙工学)
		Science Basics Special Lecture on Innovation Studies I
兼任	教授	藤原(松尾)智栄美 (46) <平成31年4月> 博士(言語文化学)
		Japanese Language and Culture I Japanese Language III
兼任	教授	堀江(萩野)未来 (49) <平成31年4月> Ph. D. in Educational Policy and Administration
		Asian Community Leadership Seminar
兼任	教授	Lee 風子 (66) <平成31年4月> Ph. D.
		Japanese Language I
兼任	教授	島田 幸司 (57) <平成31年4月> 博士(工学)
		海外スタディ
兼任	教授	中嶋 啓示 (65) <平成31年4月> Ph. D.
		海外スタディ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	准教授	石川(児玉) 涼子 (42) <平成31年4月> 博士(政治学)	Academic English
兼任	准教授	磯田 貴道 (43) <平成31年4月> 博士(教育学)	言語・文化・社会BⅢⅢ(海外留学プログラム) 言語・文化・社会BⅣⅣ(海外留学プログラム) 言語・文化・社会BⅤⅤ(海外留学プログラム) 言語・文化・社会BⅥⅥ(海外留学プログラム)
兼任	准教授	羽谷 沙織 (41) <平成31年4月> 修士(教育学)	カナダ研究(海外留学プログラム) 異文化間コミュニケーション(海外留学プログラム) 環太平洋研究(海外留学プログラム)
兼任	准教授	三井 久美子 (46) <平成31年4月> 修士(言語・文化学)	Japanese Language IV
兼任	准教授	山中 司 (39) <平成31年4月> 博士(政策・メディア)	言語・文化・社会AⅨ(海外留学プログラム) 言語・文化・社会AⅩ(海外留学プログラム) 言語・文化・社会CⅢ(海外留学プログラム) Regional Anatomy(海外留学プログラム) Global Issues and Perspectives(海外留学プログラム) 言語・文化・社会CⅣ(海外留学プログラム) 言語・文化・社会DⅢ(海外留学プログラム) 言語・文化・社会DⅣ(海外留学プログラム) 言語・文化・社会DⅤ(海外留学プログラム) Grammar I(海外留学プログラム) Grammar II(海外留学プログラム) Listening I(海外留学プログラム) Listening II(海外留学プログラム) Reading I(海外留学プログラム) Reading II(海外留学プログラム) Speaking I(海外留学プログラム) Speaking II(海外留学プログラム) Writing I(海外留学プログラム) Writing II(海外留学プログラム) Speaking & Listening I(海外留学プログラム) Speaking & Listening II(海外留学プログラム) 言語・文化・社会CⅠ(海外留学プログラム) 言語・文化・社会CⅡ(海外留学プログラム) 言語・文化・社会DⅠ(海外留学プログラム) 言語・文化・社会DⅡ(海外留学プログラム) Academic English Skills(海外留学プログラム) English as Second Language(海外留学プログラム) English Language Skills and Competencies(海外留学プログラム) Global Fieldwork Project
兼任	准教授	福良 直子 (43) <平成31年4月> 博士(言語文化学)	Japanese Language III Japanese Language IV
兼任	講師	大久保 加奈子 (43) <平成31年4月> 博士(文学)	Japanese Language I Japanese Language II
兼任	講師	SANDROVYCH TYMUR (34) <平成32年4月> 修士(文学)	Contemporary Japan

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	准教授	石川(児玉) 涼子 (42) <平成31年4月> 博士(政治学)	Academic English
兼任	准教授	磯田 貴道 (43) <平成31年4月> 博士(教育学)	言語・文化・社会BⅢⅢ(海外留学プログラム) 言語・文化・社会BⅣⅣ(海外留学プログラム) 言語・文化・社会BⅤⅤ(海外留学プログラム) 言語・文化・社会BⅥⅥ(海外留学プログラム)
兼任	准教授	羽谷 沙織 (41) <平成31年4月> 修士(教育学)	カナダ研究(海外留学プログラム) 異文化間コミュニケーション(海外留学プログラム) 環太平洋研究(海外留学プログラム) Global Fieldwork Project
兼任	准教授	山中 司 (39) <平成31年4月> 博士(政策・メディア)	言語・文化・社会AⅨ(海外留学プログラム) 言語・文化・社会AⅩ(海外留学プログラム) 言語・文化・社会CⅢ(海外留学プログラム) Regional Anatomy(海外留学プログラム) Global Issues and Perspectives(海外留学プログラム) 言語・文化・社会CⅣ(海外留学プログラム) 言語・文化・社会DⅢ(海外留学プログラム) 言語・文化・社会DⅣ(海外留学プログラム) 言語・文化・社会DⅤ(海外留学プログラム) Grammar I(海外留学プログラム) Grammar II(海外留学プログラム) Listening I(海外留学プログラム) Listening II(海外留学プログラム) Reading I(海外留学プログラム) Reading II(海外留学プログラム) Speaking I(海外留学プログラム) Speaking II(海外留学プログラム) Writing I(海外留学プログラム) Writing II(海外留学プログラム) Speaking & Listening I(海外留学プログラム) Speaking & Listening II(海外留学プログラム) 言語・文化・社会CⅠ(海外留学プログラム) 言語・文化・社会CⅡ(海外留学プログラム) 言語・文化・社会DⅠ(海外留学プログラム) 言語・文化・社会DⅡ(海外留学プログラム) Academic English Skills(海外留学プログラム) English as Second Language(海外留学プログラム) English Language Skills and Competencies(海外留学プログラム) Global Fieldwork Project 海外スタディ
兼任	准教授	KANDUBODA P. B (38) <平成31年4月> 博士(学術)	Global Fieldwork Project
兼任	准教授	豊田 結輔 (34) <平成31年4月> 博士(政策科学)	Global Fieldwork Project
兼任	講師	増井 奈穂美 (50) <平成31年4月> 修士(言語教育情報学)	Japanese Language IV
兼任	講師	大久保 加奈子 (43) <平成31年4月> 博士(文学)	Japanese Language I Japanese-Language-11
兼任	講師	SANDROVYCH TYMUR (34) <平成32年4月> 修士(文学)	Contemporary Japan

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和元年度】

- ・金山 勉教授において、担当科目の見直しにより1科目削除
- ・藤田 加代子教授において、担当科目の見直しにより1科目削除
- ・前川 一郎教授において、担当科目の見直しにより1科目削除
- ・山下 範久教授において、担当科目の見直しにより1科目削除
- ・竹中 歩准教授において、担当科目の見直しにより1科目削除
- ・THOUNY, Christophe准教授において、担当科目の見直しにより1科目削除
- ・MARUTSCHKE, Daniel Moritz准教授において、担当科目の見直しにより1科目削除
- ・小木曾 左枝子准教授において、新しく科目を担当することになり就任
- ・大野 裕（兼任）教授において、所属学部（機関）の都合により就任辞退
- ・神子 直之（兼任）教授において、所属学部（機関）の都合により就任辞退
- ・下條 正純（兼任）教授において、所属学部（機関）の都合により就任辞退
- ・遠山(安本) 千佳（兼任）教授において、所属学部（機関）の都合により就任辞退

- ・中村(日暮) ちどり（兼任）教授において、所属学部（機関）の都合により就任辞退
- ・藤原(松尾) 智栄美（兼任）教授において、所属学部（機関）の都合により担当科目の変更
- ・Lee 風子（兼任）教授において、新しく科目を担当することになり就任
- ・島田 幸司（兼任）教授において、新しく科目を担当することになり就任
- ・中逢 啓示（兼任）教授において、新しく科目を担当することになり就任
- ・三井 久美子（兼任）准教授において、所属学部（機関）の都合により就任辞退
- ・中村(日暮) ちどり（兼任）教授において、所属学部（機関）の都合により就任辞退
- ・山中 司（兼任）准教授において、所属学部（機関）の都合により担当科目を1科目追加
- ・福良 直子（兼任）准教授において、所属学部（機関）の都合により就任辞退
- ・KANDUBODA P. B（兼任）准教授において、新しく科目を担当することになり就任
- ・豊田 祐輔（兼任）准教授において、新しく科目を担当することになり就任
- ・増井 奈穂美（兼任）講師において、新しく科目を担当することになり就任
- ・大久保 加奈子（兼任）講師において、所属学部（機関）の都合により担当科目を1科目削除

- ・楠田 瑛子（兼任）講師において、新しく科目を担当することになり就任
- ・辻 恵子（兼任）講師において、新しく科目を担当することになり就任
- ・林 和子（兼任）講師において、新しく科目を担当することになり就任

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（A C）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
12 名	6 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一により算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数【大学】

設置時の計画					現在（報告時）の状況				
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
6	9	0	3	18	6	10	0	3	19
(6)	(10)	(0)	(3)	(19)					
現在（報告時）の完成年度時の状況					現在（報告時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	教授	准教授	講師	助教	計 (D)
6	10	0	3	19	6	10	0	3	19
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ **「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。**（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
教授 65 准教授 60 歳	0 名	0 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{19}{18} = \boxed{105.55} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{19} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
		該当なし								
合計 (D)						後任補充状況の集計 (E)				
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
		該当なし								
合計 (F)						後任補充状況の集計 (G)				
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)						
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{0}{18} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
		該当なし								
合計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時 (30年)	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<グローバル教養学部 グローバル教養学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	—

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策(FD・SD活動含む)

① 実施体制

a 委員会の設置状況

1. 本学では、学部・研究科に共通する教学に関わる事項について審議を行うための全学的機関として、教学委員会を設置している。教学委員会は、教学部長が主宰し、各学部・研究科の副学部長・副研究科長が出席し、毎年度の各学部・研究科の教学上の総括および次年度計画を策定・承認している。ここでは、FD活動についても毎年度の方針に基づく総括、次年度計画をまとめている。本学では、FD活動を「建学の精神と教学理念を踏まえ、学部・研究科・教学機関が掲げる理念と教育目標を実現するために、カリキュラムや個々の授業についての配置・内容・方法・教材・評価等の適切性に関して教員が職員と協働し、学生の参画を得て、組織的な研究・研修を推進するとともに、それらの取組の妥当性、有効性について継続的に検証を行い、さらなる改善に活かしていく活動」と定義している。教育の質的向上のために、各学部・研究科においてFD活動を行うとともに、教学部が主催して教学実践フォーラムや懇談会等を実施し取組を共有している。
2. 全学的には教育開発推進機構(以下「機構」という。)を設置し(「立命館大学教育開発推進機構規程」第2条)、その下に教育・学修支援センター(以下「センター」という)を置いて、学部・研究科の取組みを支援している(同第4条)。

b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)

1. 教学委員会は隔週月曜日に実施し、全学部・研究科の副学部長・副研究科長が出席している。(教学委員会規程)
2. 機構は、日常的運営を行うため、教育・学修支援センター会議(「センター会議」)を置いている(立命館大学教育開発推進機構規程第10条、第12条)。
構成員は、教育・学修支援センター長(委員長)、教育・学修支援センター副センター長(副センター長)、教学部副部長(事務局長)、一貫教育部副部長、一貫教育部教育研究・研修センター長、機構所属教員(嘱託講師を除く)、教学部次長、機構長が任命する教職員(以上委員)である。

c 委員会の審議事項等

1. 教学委員会(教学委員会規程第2条)
 - (1) 教学の基本方針に関する事項(カリキュラム改革、毎年度の開講方針および教学総括等)
 - (2) 学部と研究科に共通する教学および教務事項 等
2. センター会議(立命館大学教育開発推進機構規程第11条)
 - (1) 機構およびセンターの活動方針および総括に関する事項
 - (2) センターが行う事業の基本方針に関する事項 等

② 実施状況

a 実施内容

1. 教学実践フォーラム、FD懇親会の開催
2. 新任専任教員対象の「実践的FDプログラム」の実施
3. 授業アンケートの実施、分析、授業改善に関わる担当者と受講生間の意見交換の実施
4. 学びと成長調査の実施、分析を通じた学生実態把握と教育上の課題の共有
5. 『ITL(Institute for Teaching and Learning) News』、紀要『立命館高等教育研究』を通じた教育に関する実践報告や授業研究の共有
6. 教学総括・計画概要の策定、自己点検・評価報告書の作成の支援を通じた教学PDCAサイクルの確立

b 実施方法

1. 教学実践フォーラム、FD懇親会の開催
 - ・留学の質保証、カリキュラム・マップ、ツリーの取組み、高等学校教育の変化、次期学習指導要領のもとでの授業の変化、および大学入試の方向性について
2. 新任専任教員対象の「実践的FDプログラム」の実施
新任の専任教員を対象として、ガイダンス、ワークショップ、発表会、コンサルテーション等を1年間（最長2年間）実施
3. 授業改善に関わる担当者と受講生間の意見交換の実施
 - ・個別授業の授業改善、組織的な教学改善、学生への説明責任を目的として、大学全体で統一した書式により授業アンケートを実施。Webコースツールのアンケート機能も活用する。各授業の中盤にWebコースツールや「コミュニケーション・ペーパー」「インタラクティブシート」等を活用した授業改善に向けた意見交換を実施（希望する教員）
4. 学びと成長調査の実施、分析を通じた学生実態把握と教育上の課題の共有
 - ・学生の学びと成長調査（アンケート）設計、実施、分析と教学委員会への報告
5. 『ITL（Institute for Teaching and Learning）News』を通じた実践の共有および紀要『立命館高等教育研究』の発行を通じた教育に関する実践報告や授業研究の共有
6. 教学総括・次年度計画概要、自己点検・評価報告書の作成の支援を通じた教学PDCAサイクルの確立
 - ・「教学総括」や「自己点検・評価報告書」作成の支援

c 開催状況（教員の参加状況含む）

<平成30年度実績>

1. 教学実践フォーラムの開催
 - ・3回開催、のべ約120名参加
2. 新任専任教員対象の「実践的FDプログラム」の実施
 - ・38名が修了。修了式を実施し、修了証を授与。
3. 授業改善に関わる担当者と受講生間の意見交換の実施
 - ・授業アンケートは毎セメスター、全授業で実施。アンケート回収率は、講義系26.8%、外国語53.2%、小集団33.6%（前期）、講義系21.7%、外国語50.2%、小集団29.1%（後期）。
4. 学びと成長調査の実施
 - ・2016年度より全学生を対象に毎年度調査を実施している。
5. 「ITL（Institute for Teaching and Learning）News」を1回発行し、紀要『立命館高等教育研究』を1回発行。
6. 教学総括・次年度計画概要の作成、自己点検・評価報告書の作成の支援を通じた教育面でのPDCAサイクルの確立
 - ・教学総括・次年度計画概要は2019年度第3回教学委員会にて承認予定。
 - ・各学部、研究科の要望に応じて教育開発推進機構教員が専門的知見を活かして支援を行った。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

1. 教学実践フォーラムをつうじて共有した優れた教育実践を授業改善や学生支援に活用
2. 先進的な教育実践と学部・研究科固有の組織的なFD活動との連携を促進
3. 教員に期待する教育力量の向上および教育活動の促進
4. アンケート結果の分析をもとに学部での授業改善、教育改善の取組に反映
5. 実施結果の分析による教育内容の改善
6. 教育を取り巻く動向や課題、実践事例の共有と普及、教育に関する理論や実践の研究と成果の発信
7. 毎年度の開講方針に基づく点検・評価、次年度に向けた改善課題の明確化、自己点検・評価活動をつうじた教育内容や方法の改善促進

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・毎年度、各セメスター終盤に実施（授業アンケート）
- ・各セメスターの5～6週目（Webコースツール、「インタラクティブシート」等によるアンケート）

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・各授業および分野等で分析し、①各教員には個別分析結果を返却、②学生には結果全体の報告書をホームページに掲載すると同時に各学部・研究科事務室等の窓口で閲覧できるようにしている。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本学部の人材育成目的である「人文学及び社会諸科学の教育研究、また日本及びオーストラリアを含むアジアの諸社会における様々なボーダーを超える経験と主体的な学びを通じて、人間社会の多様性への洞察と人類史をグローバルに俯瞰する視点を見え、高い倫理観のもとに、新しい科学・技術の発展を踏まえた未来社会への革新的な構想力と豊かな表現力をもって、グローバル化する社会のなかで実践的に問題発見・問題解決をリードし、そのために学び続けることのできる人間を育成する」ことを達成することを目的として、以下の取組みを行った。

1. 入学者確保

本学部設置届出の受理を受けて、学部紹介パンフレット作成、ホームページ作成、附属校生徒対象説明会の実施、国内外の高等学校・インターナショナルスクール・入試フェア等の参加・訪問、オープンキャンパスでの学部紹介や模擬授業の実施、学部設置に関する記者発表やプレスリリース、新聞・雑誌からの取材受け入れ、JR車両への交通広告、新聞紙面への広告などを積極的に展開し、本学部の教学内容や入学者受け入れ方針の浸透を図った。

結果として、4月入学者で23名の入学者を得た（14名が立命館大学で学習を開始する学生、9名がオーストラリア国立大学で学習を開始する学生）。9月入学の学生については既に合格者のうち二次手続まで終えている者が32名、現在選考中の入学試験については54名の志願者を得ている。今後も本学部の教学内容や入学者受入方針の浸透に注力し、入学者受入方針に沿った優秀な入学者をできるだけバラエティに富んだ国・地域から受け入れることとした。

2. 新入生オリエンテーション

新入生に対して入学前の3月28日に集合研修型のオリエンテーションを実施し、学部教学の理解を深めるための講義やグローバル教養学部を志望した理由、学びたいこと、将来の目標などを学生同士で共有するグループワークを実施した。また、4月に授業開始前のオリエンテーションを実施し、学生生活全般と履修に関する手続き等について説明を行った。デュアル・ディグリープログラムであるため、協定先のオーストラリア国立大学の教員と職員によるガイダンスも併せて実施した。新設学部のため、学生・教員・職員が初めて揃ったことから、学生・教職員との交流機会として、Welcome Partyを実施し、学生との親睦を図った。また、保護者向けの企画（Faculty & Parents）を実施し、学ぶ環境（教員・職員・施設）を確認していただく機会を設けた。

3. 初年次教育

グローバル教養学部の教学において、初年次教育は重要な位置づけとしており、学部教学の基盤となる科目である「Introduction to Global Liberal Arts I」（IGLA I）と「Introduction to Global Liberal Arts II」（IGLA II）を配置している。IGLA I・IIは、初年次配当の必修科目であり、人文科学、社会科学、自然科学の教員が3名ずつで実施するオムニバス形式の科目である。講義の中では基礎的な講義を受けつつ、原典の講読、グループ討議やケース・スタディを通じて、それぞれ、Iでは知識に関する問いを探求する方法的姿勢を、IIでは知識生産の倫理的側面についての基本的知識を身につける科目である。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・大学としての「2018年度自己点検・評価報告書」を平成31年3月に公表済み

b 公表方法

- ・大学ホームページ上で公表済み <http://www.ritsumeai.ac.jp/assessment/>

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成30（2018）年度に公益財団法人大学基準協会の大学評価（認証評価）（機関別認証評価）を受審、適合認定を得た。評価結果は大学ホームページ上に公開済み。評価結果における提言に対する改善報告書は令和4（2022）年度に同協会に提出予定
- ・次回は令和7（2025）年度に公益財団法人大学基準協会の大学評価（認証評価）（機関別認証評価）を受審予定

（注）・設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表（予定）の有無 （ 有 無 ）

b 公表有の場合の公表（予定）時期 （ 令和元（2019）年 7月 31日 ）

（注）・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

